

# 令和 4 年度 北栄小学校グランドデザイン

## 教育関係法令等

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学校教育法
- 学習指導要領
- 北海道教育の重点
- 十勝教育の重点
- 帯広市教育基本計画

## 学校教育目標（目指す子ども像）

『心豊かに たくましく生きる子どもを育てる』

### 思いやりのある子

◇人を思いやり 自然を愛し 自らを律する心を育む

### たくましい子

◇生命の尊さを自覚し 自ら心身を鍛える態度を育む

### 助け合う子

◇仲よく 励まし合う 豊かな人間性を育む

### よく考える子

◇善悪の判断や自らの行動についてしっかり考える習慣を育む

### 進んでやる子

◇努力すること 自ら課題を克服・解決しようとする態度を育む

## 目指す学校像

- 児童が楽しく学べる、安全・安心な学校
- 保護者・地域から信頼され地域とともにある学校
- 様々な課題に対し「チーム北栄」として組織的に解決を図る学校
- 教育機関としての立場を自覚し、公教育に携わるにふさわしい学校

## 経営の基本方針

組織力を発揮して、新しい時代を生き抜くために必要な資質・能力を確実に身につけさせる  
～確かな学力(知)、豊かな心や社会性(徳)、健やかな身体(体)の調和～

## 【今年度の重点】 よく考え、仲間とともに伸びる北栄の子を育てる

新しい時代に必要となる資質・能力の育成（知）	豊かな心が育つ教育（徳）	健康で安全安心な教育（体）
<p>【生きて働く知識・技能の習得】</p> <p>①子どもたちの教育的ニーズや理解度に応じたきめ細かな指導を行うために、ICTを最大限に活用して、個別最適な学びの実現を目指す。</p> <p>②指導方法工夫改善教員等により、算数におけるTTや少人数指導、習熟度別学習を効果的に取り入れることで個に応じた指導を充実させる。</p> <p>③授業の終末段階、単元末、学期末、朝学習、「放課後スキルアップ」などで、学習内容を定着させる場面を意図的に設定する。</p> <p>【未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成】</p> <p>①STの協力の下、端末の効果的な活用による思考の見える化を図り、協働的な学びを充実させる。</p> <p>②すべての教科で「課題」「まとめ」を意識する。また、授業の流れがわかる構造化された板書とノート指導を工夫する。</p> <p>【学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養】</p> <p>①一人一人が自己存在感を感じられるよう、生徒指導の機能を生かした授業づくりに努める。</p> <p>②「学び方のきまり」の定着を図り、学年が上がっても学習に円滑に取り組むことができるようにする。</p> <p>③発達段階に応じた学び方について理解を図り、家庭との連携により学習習慣が身に付くようにする。</p>	<p>【道徳教育の充実】</p> <p>①教育活動全体で、あらゆる機会をとらえ、生きる力の核となる道徳教育を充実させる。</p> <p>②多様な人材の活用による出前授業や体験活動の充実を図る。</p> <p>【あいさつができる子】</p> <p>①「継続は力なり」あいさつの指導は全教職員で取り組むとともに、家庭や地域とも連携した取組を継続していく。(CSとタイアップ)</p> <p>②ブロックごとに「目指すあいさつ像」を共有  <input type="radio"/>元気に <input checked="" type="radio"/>進んで <input checked="" type="radio"/>相手にとって気持ちよく</p> <p>【いじめ・不登校の未然防止】</p> <p>①自己肯定感を高める支持的学級風土を醸成し、温かい学級づくりを組織的に進める。</p> <p>②保護者、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーとの連携を図る。</p>	<p>【体力・運動能力の向上】</p> <p>①運動量の多い汗をかく体育の授業を工夫する。</p> <p>②新体力テストの全学年実施により、自己の経年変化を知ることによって体力に関心をもたせる。</p> <p>③遊びを通して運動の楽しさや喜びを味わわせ、積極的に運動に親しむことのできる実効性のある取組を進める。</p> <p>【健康の推進】</p> <p>①家庭と連携して、過剰で不適切なメディアとの接触を避けることを含め、望ましい生活習慣を身に付けさせる。</p> <p>②様々な感染症に対する正しい知識や予防方法を身に付けさせるとともに、『学校の新しい生活様式』に基づき組織的な感染症対策を継続させる。</p>
	<p>魅力ある学校づくりの推進（連携）</p> <p>【教職員間の連携】</p> <p>①教職員の個性・特性を生かしつつ、揃えるべきベクトルを揃えた教育活動を推進する。</p> <p>②教員が連携して複数の目で児童のよさをとらえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年の子どもを学年で育てるという学年経営の視点を重視（学年の実態に応じて担任の得意分野を生かした交換授業も検討）</li> <li>・担外や養護教諭との密なる情報交換</li> </ul> <p>③学年内及び分掌内の他、各先輩教職員の強みを生かしながら、OJT研修を進める。</p> <p>④働き方改革を一層推進し、ゆとりをもって子どもと向き合う時間を確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の平準化</li> <li>・ICTの活用</li> </ul> <p>【一中エリア内の連携】</p> <p>①一中エリア小中一貫教育の推進で、連続性・系統性に配慮した学びを目指す。</p> <p>【保護者・地域との連携】</p> <p>①学校・家庭・地域が「目指す子ども像：あいさつ上手で思いやりのある北栄っ子」を共有し、その実現に向けた取組を進める。</p>	

## 地域の支え

## ～コミュニティ・スクール協議会～

PTA

おやじ倶楽部

図書ボランティア

元気クラブ

PTAOB会

同窓会

児童保育センター

町内会

北栄小地区交通安全連絡協議会

北栄小地区生涯学習推進委員会